



平成 22 年 1 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 ユビキタス

代表者名 代表取締役社長 川内 雅彦

(JASDAQ・コード 3858)

問合せ先

役職・氏名 取締役最高財務責任者 家高 朋之

電 話 03-5908-3451

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月8日付当社「平成21年3月期決算短信（非連結）」において発表した平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想を、下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期 通期業績予想の修正

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	980	260	270	140	1,676 円 64 銭
今回修正 (B)	1,080	400	408	150	1,794 円 77 銭
増減額 (B－A)	100	140	138	10	
増 減 率	10.2%	53.8%	51.1%	7.1%	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	945	373	298	105	1,261 円 16 銭

2. 業績予想修正の理由

ゲーム関連売上高が堅調に推移したことに加え、ネットワーク関連、及びデータベース関連においても売上高が順調に推移した結果、年初想定した通期の売上高を上回る見込みです。ゲーム関連売上高につきましては、上半期にニンテンドーDS向け Wi-Fi 対応ゲームの人気タイトルが発売され売上高を伸ばしました。下半期は上半期に比べると控えめな推移を想定しておりましたが、当第3四半期会計期間も好調であり、また第4四半期会計期間にも人気タイトルの発売が予定されております。さらに、ネットワーク分野、データベース分野においても新たな受注が見込まれることから、通期の売上高予想を上記のとおり修正いたします。

損益面につきましては、売上高の増加に加え、本社移転関係費用、営業マーケティング活動費用、及び経費の圧縮等を要因に、営業利益、経常利益、及び当期純利益について前回予想を上回る見込となり、上記のとおり予想を修正いたします。

なお、当期純利益につきましては、特別損失が発生したために営業利益及び経常利益の増加に比べて小幅の上昇となりました。特別損失の主な内訳は、平成 21 年 10 月 23 日付「平成 22 年 3 月期第 2 四半期の投資有価証券評価損に関するお知らせ」に記載のとおり、「その他有価証券」に区分される保有投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落し、その回復があると認められないものについて減損処理を行った投資有価証券評価損 127 百万円です。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上